

レベル  
1

うるさい

この や  
お好み焼き



エミールくんは<sup>おおさか</sup>大阪<sup>き</sup>に来ました。

今日ははじめて<sup>この</sup>この<sup>や</sup>焼き<sup>た</sup>を食べ<sup>い</sup>に行きます。



1

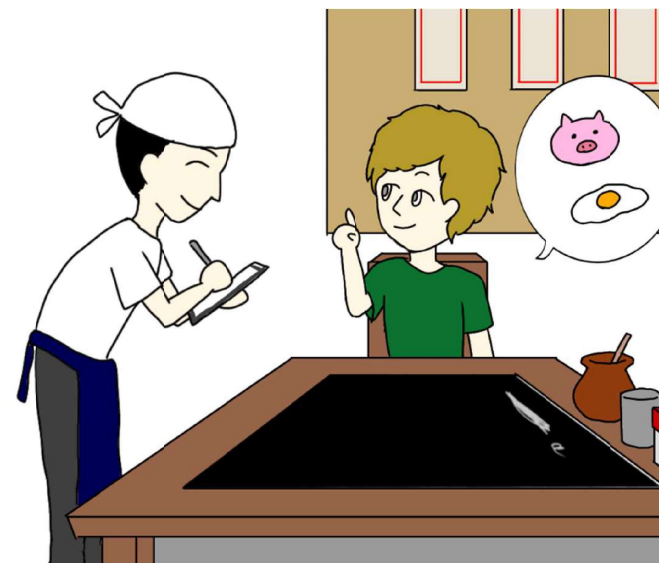
「いらっしゃい！」

「<sup>この</sup>この<sup>や</sup>焼き<sup>いちまい</sup>一枚<sup>ねが</sup>お願いします！」

<sup>ぶたたま</sup>豚玉で！」

「はい、<sup>ぶたたま</sup>豚玉いっちょう！」

※<sup>ぶたたま</sup>豚玉：<sup>ぶたにく</sup>豚肉と<sup>たまご</sup>たまご



2

「お待たせしました。豚玉です。」

「おいしそう！写真、写真！」



「いただきます！」

「ちょっと待って！」

だれかの声がします。

「ん？だれの声？」

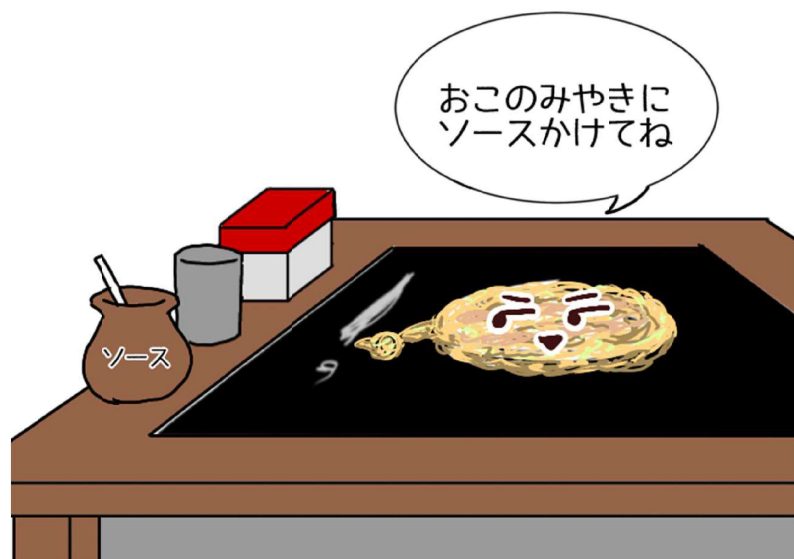


(おれやで：おれ(わたし)だよ)

「え、このお好み焼きがしゃべってる!？」

「そうそう。でも、これはまだこのお好み焼きちゃうで(まだこのお好み焼きじゃないです)。」

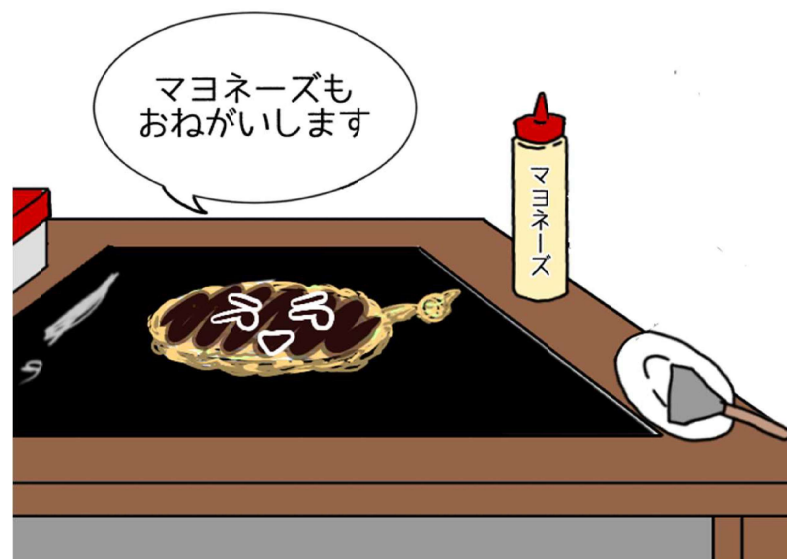
「え？まだ？」



「ああっ、ソースですね。はい、かけ  
ます。じゃあ、写真<sup>しゃしん</sup>とります。」

「ちょっと待<sup>ま</sup>って、まだまだ！」

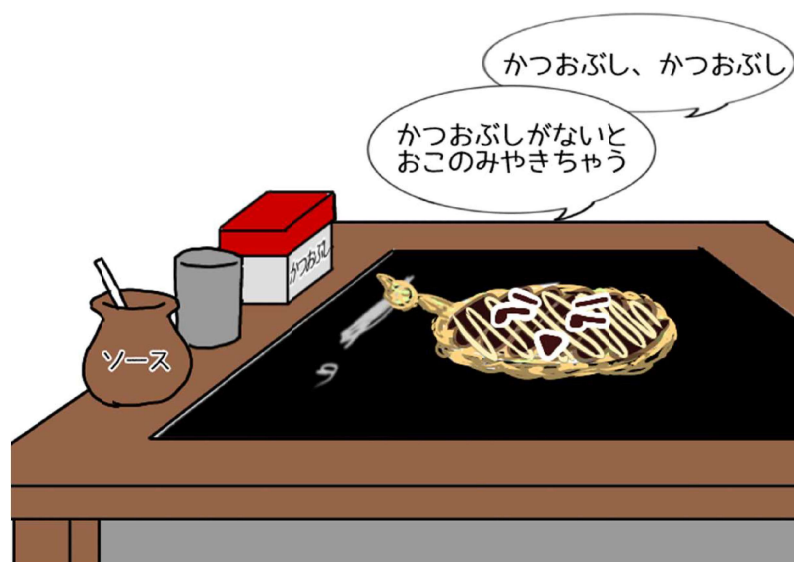
「え？まだなの？」



「あっ、はい。マヨネーズもですか。  
はい、かけます。じゃあ、写真<sup>しゃしん</sup>とります。」

「ああああ。まだです、まだです。まだやがな（まだですよ）。」

「ええー。まだですか。早く食べたい。」



(おこのみやきちゃう：このやきじゃないです)



「これでよし。じゃあ、写真とりますよ！」

「まだ！あとちょっと！」

「ええ～？早く食べたい～」

「わかった、わかった。」

じゃあ、<sup>あお</sup>青のりはちょっと！ちょっと  
だけ！」



「うわあ、おいしい～！でも、もっと  
<sup>あお</sup>青のりがほしい！」

エミールくんは、たくさんたくさん<sup>あお</sup>青  
のりをかけました。

「うん、とてもおいしい！」

「ごちそうさまー！」



(ついてんで：付いていますよ)

## うるさいお好み焼き

2024年9月1日発行

編著：谷口萌子

挿絵：磯山暁子

監修：MCJP ぼくよむ文庫制作チーム



国際交流基金パリ日本文化会館日本語事業部